

時 間 午後2時00分～  
会 場 全員協議会室

## 市長記者会見資料

### 【報道発表資料】

- ① 介護予防等に向けた成果指向型の優れた取組で  
全国15自治体の1つに選定されました！  
～脱「焼け石に水」への挑戦～
- ② 八王子駅南口集いの拠点オープンまで500日  
～愛称を5月20日に発表～
- ③ 市役所本庁舎食堂前の池を利活用

## 介護予防等に向けた成果指向型の優れた取組で 全国15自治体の1つに選定されました！

～ 脱「焼け石に水」への挑戦 ～

厚生労働省が今年度創設した「保険者機能強化推進交付金 成果指向型配分枠」に、八王子市の介護予防等の取組が選出されました。これは、介護予防等に向けて、特に優れた取組を行う自治体に交付されるもので、全国で15自治体が対象となります。

### 1. 「保険者機能強化推進交付金 成果指向型配分枠」の概要

#### (1) 保険者機能強化推進交付金

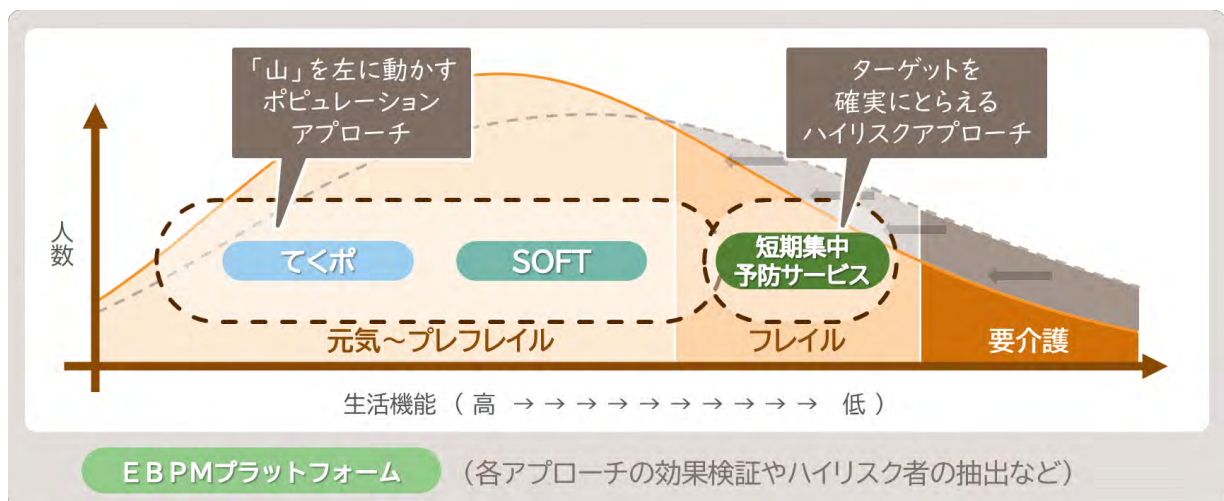
市町村が行う自立支援・重度化防止等の取組に対し、評価指標の達成状況に応じて、国が交付金を支給するものです。

#### (2) 成果指向型配分枠

データやロジックモデルを活用した実効性のあるPDCAサイクル推進の観点から特に優れた取組を行う自治体に交付されるもので、全国で15市町村（高齢者人口10万人以上の自治体のうち3市町村）が対象となります。

### 2. 選出理由となった取組 ※各取組の概要等については、次ページをご覧ください。

本市では、介護予防事業が「焼け石に水」にならないよう、様々な取組を組み合わせた工夫を行っています。「成果指向型配分枠」の対象自治体の決定にあたっては、多くの高齢者が対象となる「てくぽ」と「SOFT」、要介護状態になる前に元の暮らしを取り戻す支援をする「短期集中予防サービス」、そしてデータ分析でそれらを支える「EBPMプラットフォーム」（証拠に基づく政策立案を実現・支援するためのデータ基盤や分析ツール、運用体制を統合した仕組み）の一体的な取組が評価されました。



### 3. 交付金・・・・・・・・1億1,676万2,000円（10割補助）

多くの自治体が直面する  
介護予防の  
「焼け石に水」問題

全国的に高齢者の増加や生産年齢人口の減少が進む中、限りある予算・マンパワーで普及啓発や介護予防教室などに力を入れても、参加者は100人、1000人といった規模の健康関心層に限定されてしまい、健康無関心層の行動につなげることが難しい。

→ 99%以上に手が届いていない

脱「焼け石に水」のための両輪

限られた資源で、健康無関心層も含む多くの高齢者を対象にできる  
ポピュレーションアプローチ

てくポ(八王子てくてくポイント)

スマートフォンアプリを使い、日々の歩数や脳トレ、ボランティア・イベント参加にポイントを付与。フレイル予防の3本柱「身体活動・栄養・社会参加」を楽しく・お得に習慣化することを目指す。

R6年度末時点での参加者は約1万3千人。従来の事業で取込みが難しかった前期高齢者や男性の参加率が高いのも特徴。

さらに持続可能性・健康効果を高めるため、民間による健康づくりサービス等の情報を利用者に提供し、広告料をポイント原資に充てる仕組みを研究中。



SOFT(スローオンラインフィットネス)



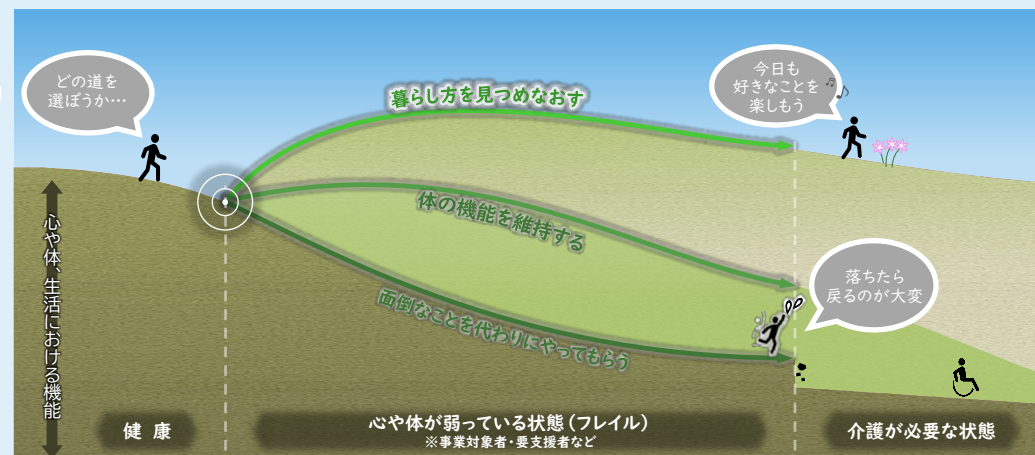
プロのインストラクターと通いの場をオンラインでつなぐ仕組みで、市内にある明治安田厚生事業団体力医学研究所が開発したもの。

「多くの高齢者に効果的なプログラムを提供可能」、「通いの場の企画者の負担が軽い」といった利点により、これまでの通いの場づくりの限界を超えられる可能性を感じ、社会実装に向けた共同研究を実施中。

フレイル状態で対象者を確実に把握し、暮らしを取り戻す支援をする  
ハイリスクアプローチ

通所型短期集中予防サービス(通所C)

リハビリ専門職による面談により、利用者自身の「本当の望む暮らし」を改めて確認したうえで、利用者自ら望む暮らしを維持できるような習慣を身に着けるよう支援する。「やってあげる」のサービスではなく、「やってみよう！」のコーチングが基本的な考え方。対象層を確実にサービスにつなげるために、アウトリーチ(後期高齢者悉皆調査を活用した高リスク者への包括職員訪問)とインテーク(リハビリテーション専門職のアセスメント同行による改善可能性評価)を実施。



それぞれのアプローチについて、要介護リスクや予測医療・介護費を定量的に推計する「EBPMプラットフォーム」構築を並行して実施し、効果を検証。

# 八王子駅南口集いの拠点オープンまで500日

## ～愛称を5月20日に発表～

令和8年10月の開設に向け、JR八王子駅南口の医療刑務所跡地（子安町3-26-1）で整備を進めている「(仮称)八王子駅南口集いの拠点」が、5月20日にオープン500日前となります。そこで、市民の皆さんへの機運醸成とさらなる周知を図るため、オープン500日前イベントを開催します。

当日は、公募していた愛称の発表セレモニーを行います。愛称の公募には、1月17日から2月10日までの募集期間に886件（市内在住者862件、市内在勤・在学者24件）の応募がありました。その中から、候補8案を選出し、市内小中学生によるWeb投票（投票期間：3月3～14日）を行いました。この投票結果を踏まえ、愛称を決定しています。

また、セレモニー終了後には、メディア関係者を対象とした工事現場見学会を実施します。

### 1 愛称発表セレモニー

日時 5月20日（火）13時30分～（10分程度）

会場 桑都日本遺産センター八王子博物館（はちはく）

八王子駅南口 サザンスカイトワー八王子3階

サザンスカイトワー八王子  
3階フロアマップ



### 2 オープン500日前イベント

#### (1) 食育フェスへのブース出展

集いの拠点に設置予定の移動図書館車の展示のほか、クラフト体験

日時 5月18日（日）10～15時

会場 東京たま未来メッセ

#### (2) 愛称周知（PR）イベント

- ① 模型（1/500サイズ）・完成イメージパースの展示、デジタルサイネージへ愛称決定の掲示、チラシ配布

期間 5月20日（火）～25日（日）

会場 八王子オーパ 2階フロア

次ページあり

- ② 医療刑務所に関する資料の展示、完成イメージパースの展示、ノベルティグッズ配布（人数限定）

期間 5月20日（火）～25日（日）

会場 桑都日本遺産センター 八王子博物館 （はちはく）

### （3）市民共創ワークショップ

※詳細は、別紙チラシをご覧ください。

- ① 施設の合言葉（ブランドメッセージ）をつくろう

日時 5月24日（土）10～12時

会場 オープンイノベーションフィールド多摩八王子館

- ② 施設に飾る布のデザインを考えよう

日時 5月24日（土）14時30分～17時

会場 オープンイノベーションフィールド多摩八王子館

### （4）八王子駅南口の新施設のバーチャル体験

日時 6月8日（日）12～16時

会場 えきまえテラス（八王子市保健所跡地暫定広場）

八王子駅南口の新施設のバーチャル体験とは

ipad やVRゴーグルを使って、集いの拠点の3Dモデルを見ていただけます。1/20 スケールの集いの拠点の3Dモデルを作成し、ipad 内に出現する3Dモデルの集いの拠点の8つの山を、端末を持って歩きまわっていただけます。

また、希望者へは、VRゴーグルを装着して、2階の開架スペース内の雰囲気やガラス越しの公園の眺望をみていただくことができます。



## 3 工事現場見学会（メディア対象）

新施設のバーチャル体験を実施する予定です。

日時 5月20日（火）15時～15時30分

会場 集いの拠点工事現場（子安町3-26-1）



集合場所(現場事務所)  
駐車スペースあり

※現場は工事中ですので、参加者は各社最少人数でお願いします。また、駐車スペースが限られているため、なるべく公共交通機関等によりお越しください。

開館500日前  
イベント

集いの拠点 わくわくスタートプロジェクト

# 八王子駅南口の新しい公園&施設の

ブランドメッセージ

# 合言葉をつくろう!

市民共創ワークショップ

2026  
PARK  
OPEN



公園・ライブラリ・交流スペース・ミュージアムが  
一体となったこの施設の「合言葉（ブランドメッセージ）」を、  
市民の皆さんと一緒に考えるワークショップを開催します。  
あなたの八王子愛やアイデアをこの新しい拠点作りに活かしてみませんか？

参加者  
募集!

参加費  
無料

2025

5/24 土

10:00~12:00

【会場】 オープンイノベーションフィールド多摩  
八王子館2Fホール（八王子市明神町3-5-1）

【定員】 25名（申込多数の場合は抽選となります）

【対象】 市内在住、在勤、在学で小学3年生以上の方  
（小学生は保護者同伴）

【講師】 森田哲生氏（株式会社Rockaku）

講師は八王子のブランドメッセージ「あなたの  
みちを、あるけるまち。八王子」を手がけた森田哲  
生さん。市民のみなさんのアイデアを言葉に変  
え、未来へ受け継ぐメッセージを創り上げます。



## 申込方法 締切 5月15日（木）

HPのお問合せフォームまたは、メールよりお申込みできます。

①「合言葉をつくろうに参加」と記入 ②住所 ③参加者全員の氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号  
⑥市外の方は勤務先・学校名 ⑦ご参加の理由 を記載してください。

<お問合せ>

NPO birth内「集いの拠点」係 TEL：042-634-9444

[hachioji@npo-birth.org](mailto:hachioji@npo-birth.org)

お問合せフォームは  
こちらから!



開館500日前  
イベント

集いの拠点 わくわくスタートプロジェクト

# 織物のまち八王子の 新しい公園&施設にかざる 布のデザインをつくろう

2026  
PARK  
OPEN

市民共創ワークショップ

参加者募集中!

きみのアイデアが、  
オリジナルの布になる!  
八王子の未来を、  
いっしょに描こう♪



2025  
5/24 土  
14:30~17:00

自由に表現してみよう♪

八王子の文化と自然の魅力を未来につなぐワークショップを開催! テキスタイルデザイナー・水野智章さんと一緒に、八王子の歴史や植物を学びながら、100年先のまちをイメージしたデザインを作ります。みなさんの八王子愛やアイデアを新しい拠点づくりに活かしてみませんか?

- 【会場】オープンインベーションフィールド多摩 八王子館2Fホール (八王子市明神町3-5-1)
- 【定員】20組 (先着順)
- 【対象】市内在住、在勤、在学で小学生以上の方 (小学生は保護者同伴) ※小学生未満のお子様の見学はできません
- 【講師】水野智章氏 (炭酸デザイン室)

参加費  
無料



水野智章と若菜によるテキスタイルデザインユニット、炭酸デザイン室。今回の講師となる水野智章氏は八王子の美術大学等で教鞭をとり、高島屋、LUSH、ISSEY MIYAKEなどとコラボし、国内外で活躍。八王子の染工場や牧場の羊毛を活用した制作、伝統織物の技術継承にも精通。自然のものをモチーフにした明るく鮮やかなデザインが特徴で、織物と染物の両方を手がけるデザイナー。

## 申込方法 締切 5月18日 (日)

HPのお問合せフォームまたはメールにてお申込みいただけます。  
①「デザインをつくろうに参加」と記入 ②住所 ③参加者全員の氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号  
⑥市外の方は勤務先・学校名 ⑦ご参加の理由 を記載してください。

<お問合せ>  
NPO birth内「集いの拠点」係 TEL: 042-634-9444  
✉ [hachioji@npo-birth.org](mailto:hachioji@npo-birth.org)

お問合せフォームは  
こちらから!



## 市役所本庁舎食堂前の池を利活用

市民サービスの向上に向けた職員の働きやすい職場環境の整備を図るとともに、来庁される市民の憩いの空間として、本庁舎食堂の前にある池を改修します。この本庁舎は昭和58年10月に建設され、これまで食堂前の池は、岩肌を滝が流れ、周辺の草木により四季折々の風景を感じることでできる空間でしたが、地球温暖化防止に向けたCO2排出量削減の観点から滝や池設備の稼働を停止していました。

そこで今回、整備するにあたっては電力等を使わずにSDGsの視点を踏まえるとともに、「学園都市・八王子」の特長を活かすものとししました。東京造形大学との共創により、八王子市が同大学で行っている環境授業「サステナブルデザイン論D」の時間を活用し、受講した学生から池のデザイン案30作品を提出していただきました。その中から、職員による1次選考、2次選考、市民等による最終選考を実施し、最優秀デザインを選出しました。このデザイン採用し、本庁舎食堂前の池の改修を進めていきます。

### 1 事業概要

(1) 令和7年度本庁舎食堂前池修景整備工事

総事業費 700万円

(2) デザイン選考

全30作品の中から1次選考で上位5作品を選出し、2次選考にて上位3作品を選出。その中から、食堂利用者の投票により最優秀デザインを決定した。

(3) 最優秀デザイン ※別紙資料あり

東京造形大学3年 山口 優香（やまぐち ゆうか）さん

### 2 事業スケジュール

令和7年4月7～11日 最終選考（食堂利用者による投票）

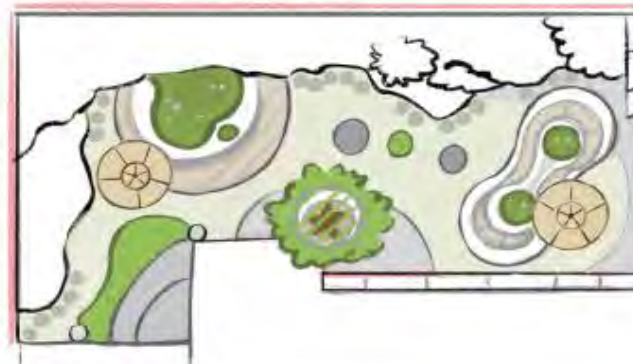
令和7年4月16日 デザイン決定

令和7年6～8月末 設計・工事（発注・契約）

令和7年9月～ 着工

令和8年3月 竣工

令和8年3月末 利用開始



《ベンチデザイン》



## Relaxation place コンセプト：広々とした空間でリラックスできる場の提供

デザインするにあたり、全体的に丸みのあるデザインにしています。角ばっていると固く冷たい印象になってしまうため控えています。周りには、ベンチを配置することで休憩できる場を設けました。食堂が近いことから天気の良いときに外に出て食事ができたり、自然のある空間にすることでリラックスできると考えました。広々としたベンチは座るスペースが広いので、利用者にとって快適に過ごせる場になります。複数人が同時に座っても余裕を持って座れるため、個々の人が快適に過ごすことができ、賑わう場にできると考えました。子供が来ることも考え、全体的に目の行き届く空間デザインに仕上げています。また、岩肌の子供が登ってしまう危険があることからフェンスやバリアの配置をしています。

### ▼《フェンスやバリアの設置》

岩肌の周囲に安全で視覚的に目立つフェンスやバリアを設置します。これにより、子供が危険な場所に近づくのを防ぎます。フェンスのデザインは、景観に配慮して見た目が「人工的」に感じられないように、自然素材を使用して目立たないようにしています。

- ・竹製フェンス：竹を使って、自然な外観を保ちながら安全を確保。
- ・ロープバリア：ロープを使って囲いを作り、視覚的に「立ち入り禁止」を示す。



### ▶《取り入れた SDGs》

緑を取り入れることで景観にも考慮しつつ、自然を貴重としたデザインにしている。また、自然を増やすことで取り入れた SDGs にも貢献している。



### 《ヒノキ板材》

ベンチの部分にしようする。腐りにくく、地球温暖化防止にも貢献できると考えます。



### 《パラソル》

元から使用されていたものを活用したい。ベンチ近くに設置することで日差しが強い日でも過ごしやすくなる。